

令和元年度管内建設業者研修を開催しました（京都土木事務所）

6月6日（木）、キャンパスプラザ京都において、建設工事の安全管理の徹底と建設業者の技術力向上を図ることを目的として、京都土木事務所管内の建設業者研修を開催しました。今年は昨年の1.5倍となる75名（うちCPDS64名）もの建設業者の方々に御参加いただきました。

当日は、京都土木星野所長が「建設工事の安全管理について」、京都市下京消防署瀬津救急係長が「工事現場における応急処置（心肺蘇生法等）について」、当所河川砂防室鎌田主査が「i-Constructionの取り組みとICT活用工事について」、当所企画調整担当田中所長補佐が「適正な施工管理と最近の動きについて」の講義を行いました。

本研修は例年10月に開催していましたが、当所管内で2年連続の死亡事故が発生したことを受け、安全管理を徹底する趣旨から、今年は出水期前の6月に前倒しして開催しました。

研修参加者のアンケートでは、「初めての参加で勉強になった」「事例を用いて具体的な講義を望みます」などの御意見をいただいております。こうした御意見を踏まえ、次回以降の研修も実り多きものとなるよう努めていきたいと思っております。

